

## 平成30年度に向けて

校長



寒い季節の中で、つぼみがほころび始め、少しずつ春が近づいていることを実感する今日この頃です。ロンドン日本人学校の子どもたちは、毎朝「おはようございます」と元気に挨拶をして登校しています。遠くから、私よりも先に大きな声で挨拶

をする子や、目を合わせてしっかり会釈をする子。冷たい空気を感じる朝も、校門で子どもたちを迎えている時、子どもたちの明るい声と溢れる笑顔のおかげで私の心はほっと温かくなります。

3学期もあと1か月余りとなりました。子どもたちは、それぞれの進級・進学に向けて、積み残しのないようにこれまでの学習や生活の総仕上げに日々真摯に取り組んでいます。

さて、先日はお忙しい中、授業参観にお越しくださり誠にありがとうございました。授業での活動の様子や学級懇談会を通じて、お子様のこの1年間の確かな成長を感じられたことと思います。また、全体会では、保護者の皆様方からいただいた学校評価の結果をお知らせし、学校に対するご要望についての回答をいたしました。

現在、本校では、学校評価の結果より教育活動の成果と課題を確認し、次年度に向けての準備を進めています。また、次年度は、新学習指導要領への移行期間となることから、「新しい時代に必要となる資質・能力(「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「人間性等)」の育成が図られるよう教育課程の工夫・改善に努めてまいります。さらに、英国ロンドンにある利点を生かした体験活動や英語教育など、在外教育施設として特色ある教育活動の充実を図ってまいります。

以下、次年度の取組をいくつかお示しいたします。

### 1 学習指導の工夫・改善

次年度も今年度に引き続き、「自ら学び、深く考え、ともに高め合うことができる児童生徒の育成」を校内研修テーマとした研究授業の充実を図り、「授業のめあてがわかる」「今日やるのがわかる」「どれだけできたかわかる」の3つの「わかる」を大切にし、

子どもの視点に立った「わかる授業」の構築に努めます。また、ティームティーチングによる授業、中学部英語サポートクラスの実施などにより、子どもたち一人ひとりの個に応じたきめ細かな指導の充実に取り組んでいきます。

### 2 英語教育

小学部英語・中学部外国語B(英会話)の授業では、授業規律の改善と教科書や電子黒板を使った「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4つの領域をバランスよく育てる授業の充実を努めていきます。また、クラス編成については、英語力判定テスト等をもとにクラス分けを行うとともに、随時ミーティング等で一人ひとりの到達度について情報を共有し、児童生徒の実態に応じて弾力的に行っていきます。

### 3 心の教育

本校では、次年度教科化となる道徳の授業において、「答えが1つではない道徳的価値に子どもたちが向き合い、考え、議論する」授業の充実を努めます。また、学校教育活動全体をとおして「時を守り 場を清め 礼を正す」ことを大切に、礼儀やマナーを身につけさせる指導を行います。さらに、いじめへの対応については、日常的な児童生徒の観察及びアンケートや面談等で予防と早期発見に努めるとともに、事案の発生に対しては客観的な事実確認のもとで迅速かつ適切に指導や支援を行っていきます。

### 4 体力の向上

体育の授業をとおして、継続的な体力づくりに取り組みます。また、新体力テストを1学期に実施し、学年や学級集団として平均数値が低い項目の改善に取り組みます。さらに、朝・中休み・昼休み・プレタイムなどで遊び時間を保障し、部活動についても今までどおりの時間と場所を確保します。

子どもたちを「やさしく かしく たくましく」育てていくためには、学校と保護者の皆様との連携が何よりも大切だと感じています。今後とも保護者の皆様のご理解ご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお祈りいたします。

### ☆ ご寄付に感謝いたします

保護者の会より、バザー収益金の中から  
£ 1, 6 8 8 . 7 4をご寄付いただき、ロッカーを購入させていただきました。

保護者の皆様のご厚意に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

## 盛り上がったフレンドリー集会

1月14日（木）の5時間目に、小学部でフレンドリー集会を行いました。フレンドリー班対抗で、「ビンゴゲーム」と「じゃんけん列車」の2種類の遊びを小学部全員で楽しみました。

「ビンゴゲーム」では、自分たちで話し合いながら、「冬」に関する言葉をカードのマスに埋めてビンゴカードを作ったので、ゲームを始める前から子どもたちは大興奮でした。ゲームが始まるとさらに盛り上がり、7つもリーチになったグループがありました。ビンゴになると、グループ全員で喜んでいました。

「じゃんけん列車」では、各フレンドリー班が1列に並んで列車をつくり、曲が止まると、列車の先頭の人同士がじゃんけんをして、負けた人が列の最後尾へ行くというルールで、ゲームを進めていきました。



子どもたちは「あわてんぼうのサンタクロース」の曲に合わせて歌いながら行進し、活動を楽しんでいました。

今後も、このような異学年交流を通して、互いの仲を深め、学校生活をより楽しく充実したものにしてほしいです。

## 充実の職場体験

1月18日（木）・19日（金）の2日間、中学部2年生は職場体験学習を実施しました。

今年度は日系の企業を中心に10か所の事業所にご協力いただきました。生徒たちは自分の興味・関心に合わせた体験場所を選び、在英国日本国大使館をはじめとした、近隣の幼稚園、日本食材店、旅行会社、航空会社、流通会社、人材派遣会社など、さまざまな事業所に分かれて体験をしました。体験の様子を見に行くと、どの生徒も、緊張しながら一生懸命仕事に取り組んでいました。また、体験後は、興奮した様子で「すごい体験をさせていただきました。」と、報告してくれました。このことから、今回の体験が、生徒たちにとって今まで経験したことのないとても貴重な体験になったことがわかります。



この2日間で学んだことをこれからの生活に生かしながら、自分自身をさらに成長させてほしいと思います。

保護者の皆様には大変多くのご協力をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

## 自分で命を守る～第4回避難訓練～

「災害は忘れたころにやってくる。」とされています。いつ起こるかかわからない火災をはじめとする災害に備え、1月22日（月）の昼休みに第4回避難訓練を実施しました。今回は図書室横トイレからの出火という想定で、予告なしで行いました。いつも通りに思い思いの場所で昼休みを過ごしていた児童生徒たちは、避難場所のバスケットコートまで、迅速に避難することができました。今回は日本大使館から山本警備対策官が来校されました。山本警備対策官からは、小学部1年生から中学部3年生まで、落ち着いて避難ができていたというご講評をいただきました。また、「火事が起きたときに大切なことは、逃げることで誰かに知らせることです。」と、教えていただきました。また、児童生徒たちからは「どう避難したらよいか不安になった。」「放送を聞き取ることができなかった。」という声もあり、課題を確認することができました。



非常時に、自分の命を守るためには、放送に耳を傾け、落ち着いて素早く避難することが重要です。そして、それは周りの人たちの命も守ることにつながります。万一の場合に備えて、今回の訓練の反省を生かし、非常時においても落ち着いて行動することができる児童生徒を育てていきたいと思えます。

## 言葉と気持ちが通じた現地校交流

1月24日（水）に小学部3年生はハービントン校との現地校交流を行いました。頑張って準備をしてきた子どもたちはやる気十分。最初の自己紹介ゲームから、ハイタッチをしたり、クイズを出し合ったり、交流校の子どもたちとコミュニケーションをとろうとする積極的な姿が見られました。



次は、「町探検」で調べた学校周辺の様子や、ロンドンタイムの「やさしさ発見」の学習の様子を英語で紹介しました。その後の「ブラインドウォーク・ブラインドボックス体験」では、アイマスクを着けたパートナーを箱まで誘導し、中身を当ててもらいました。“Go straight.”と案内をしたり、パートナーが正解したときには“Nice!”と声をかけたり、覚えた英語もしっかりと使うことができました。

活動後の感想には、「難しい英語はわからなくても一生懸命に伝えれば通じるんだ。」「パートナーの子が楽しそうでうれしかった。」などの言葉があり、子どもたちの喜びや達成感が伝わってきました。この経験を糧に、今後の英語学習に一層励んでくれることを願っています。